

5年1組 国語科学習指導案

- 1 単元名 伝記やノンフィクションを読み、感想を書いて交流し合おう。
～千年の釘にいどむ～
- 2 目標
 - ・伝記やノンフィクションなどの人の生き方について書かれた本に興味をもって読み、感想を交流させ、考えを深めようとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
 - ・書かれている事実に基づいて、自分の感想をまとめながら読むことができる。
(読むこと：(1)エ)
 - ・感想文を書くために、効果的な読み方を工夫して教材文を読むことができる。
(読むこと：(1)オ)
 - ・自分の感じ方や考え方を明確にして、必要な事柄を整理して感想文を書くことができる。
(書くこと：(1)ア)
 - ・表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。
(言語についての知識・理解・技能：(1)ウ(ウ))

3 指導にあたって

(1) 教材観

「千年の釘にいどむ」は、四国のかじ職人白鷹幸伯さんが、古代の釘の見事さについて説明しながら釘作りに挑む職人の心意気を描いた文章である。そして、白鷹さんという人の人柄や仕事への情熱を強く感じることができる作品である。思春期を迎えつつある児童にとって、一つのことに懸命に挑んでいる人を描いた本を通して、その人物の考え方や生き方にふれ、自分の考えを見つめることは大切なことである。

また、本単元では「感想をまとめる」ということも学ぶ。本を読んだ時に、自分なりに感じたことや考えたことをまとめたり、友達と交流したりして、人間の生き方を考える本へと読書の世界を広げていくことにつなげていく。

第三次では、漁師・飯田さん達の偉業について書かれた「森を育てる漁師の話」を共通教材として扱う。他の生き方にふれ、価値を追求することを大切にし、感想文を書くためである。

(2) 児童観

5年生になり、児童は、説明文「サクラソウとトラマルハナバチ」で、文章の構成から、要旨をとらえる読み方を学習してきている。話題提示文や内容に着目しながら文章を読み、筆者の主張をつかんで、それに対する自分の考えを書き、新聞作りをして伝え合うことができた。しかし、しっかり自分の考えを書くことができる子とまだまだ十分でない児童の差は大きかった。

また、発言に消極的な児童がいて、自分の考えを書いている、伝えるということに自信がもてない児童もいる。よって、発表の前にペアやグループでの交流をし、同じ考えの人がいることを知ったり、友達から認められて自信をつけたりして発表できるようにしている。

本単元では、本から人の生き方を学び、読書の世界を広げていくこともねらっている。読書傾向のアンケートをとると、物語文を読んでいる児童が多く、伝記などを読んでいる児童は少なかった。

(3) 指導観

昨年度の研究の取組から、国語科の課題として「考えが伝わる工夫をして表現すること」や「様々な文章を読み取る力をつけること」が上げられた。

そこで、第二次の「教材文を読み取る」学習では、「千年の釘にいどむ」の釘作りの見事さや驚きを読み取り、その釘作りをする白鷹さんの思いや生き方について、自分の感じ方や考え方をまとめることを行う。その感想のまとめ方を「感想文アイテム」として学ばせていきたい。

そして、第三次では、第二次の学習を生かせるように、他の文章を読んで自分の感想をまとめ、お互いの考えを交流し、自分の考えをさらに広げたり深めたりすることを行いたいと考えた。そのために、共通する熱意や信念をもって生きる人の話「森を育てる漁師の話」を取り上げた。学習した「感想をまとめる」方法を使って感想を書き、見方・考え方の交流を行う。そして、今まで物語しか読まなかった児童が、伝記やノンフィクションの本へと読書の世界を広げたりするためのきっかけになってくれることを期待している。

高学年部会テーマの『自分の考えや意図を明確に表現できる子』にせまるために、書かれている表現をとらえながら、生き方・考え方を読み、その感想をまとめさせていきたい。感想を書くために、メモしたり、自分の考えを補ったり、内容を説明したり、本の中の文章やことばを引用する力が求められる。また、自分が読んだ人物の評価をしながら、その根拠をもとにして感想文を書き、伝え合うことに取り組ませていきたい。

4 指導計画・評価計画（総時数11時間 本時第三次の2時）

次	時	ねらい	主な学習活動	評価規準	評価の観点			
					関	読	書	言
一 単 元 の 見 通 し を も つ	1	<ul style="list-style-type: none"> 読書生活をふり返り、伝記やノンフィクションの本を読んで、感想文を書くことの見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書アンケートで読書生活をふり返る。 単元名、題名、写真などから学習の見通しをもち、感想文を書く力をつけることを知る。 全文を通読する。 初発の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の読書をふり返り、人物の生き方を学ぶことができる本を読み、感想文を書くことの見通しをもっている。(国語日記) 	○			
	1	<ul style="list-style-type: none"> 初発の感想から学習のめあてをもつことができる。 難しい言葉の意味を調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 初発の感想を発表し合い、学習課題を作る。 表現したり理解したりするために、必要な難しい言葉をノートに書き、辞書を使って調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 初発の感想を発表し、学習課題について考えている。(発表) 難しい言葉を辞書を使って調べることができる。(ノート) 	○			○ ウ
二 教 材 文 を 読 み 取 る	2	<ul style="list-style-type: none"> 古代の釘の作りと現代の釘のつくりを対比しながら読み、古代の釘作りの見事さについて感想を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代の釘の作りと現代の釘のつくりを対比しながら読み、表にまとめる。 古代の釘作りの見事さについて感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 違いを読み取り、表にわかりやすくまとめている。(ワークシート) 古代の釘作りの見事さについて、感想を書いている。(ノート) 		○ エ		

	3	<ul style="list-style-type: none"> 古代の釘作りについて白鷹さんの思いや生き方について読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 白鷹さんが古代の釘作りについて「行動」と「思い」を区別して読み、叙述から読み取る。 白鷹さんの思いや生き方について自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代の釘作りについて白鷹さんの思いについて、自分なりの感想をまとめている。(ノート) 	○ エ	
	4	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った白鷹さんの生き方を評価する言葉を選び、その理由をもとに自分の感想をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「たいせつ」を読み、感想のまとめ方を知る。 白鷹さんを評価する言葉を選ぶ。 本を読み返して、理由となるところを抜き出す。 自分の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 白鷹さんについて自分の感想を書いている。(ノート) 	○ エ	
	5	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験や知っていることとくらべて、考えたことと書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「くらべて考えたこと」の文章を読む。 自分の体験や知っていることとくらべて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験や知っていることとくらべて感想を書いている。(ノート) 	○ エ	
三 読みを表現する	1	<ul style="list-style-type: none"> 「森を育てる漁師の話」を読んで、感想をまとめるために読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「森を育てる漁師の話」を読み、感想にまとめるために、サイドラインを引いたり、メモを取ったりする。 漁師さんの生き方から、自分の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 「森を育てる漁師の話」を読み、漁師さんの生き方を読みとり、感想を書いている。(ワークシート) 	○ オ	
	2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 感想を交流し合い、自分の考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 漁師さんの生き方を評価する言葉を選び、自分の感想をまとめたものを発表する。 感想を交流する。 友達の感想を聞き、自分の考えを広めたり、深めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想の交流をふまえて、新たな自分の感想をもっている。(発言・ワークシート) 	○	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感じ方や考え方を明確にして、必要な事柄を整理して感想を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 心に残ったことを抜き出し、自分の体験や知っていることとくらべて考えたことをメモする。 中心をはっきりさせて感想文を書く。(400字程度) 	<ul style="list-style-type: none"> 感想を整理して、感想文を書いている。(原稿用紙) 	○ ア	
	4	<ul style="list-style-type: none"> 感想文を推敲し、わかりやすく書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想文を推敲する。 清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想文を推敲し、ていねいに書き直している。(原稿用紙) 	○ ア	
	5	<ul style="list-style-type: none"> 感想文を読み合い、感想を伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想文を読み合って、友達の文章のよいところなどを感想カードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じ方・考え方が明確に伝わるよう推敲している。(感想シート) 	○	

5 本時の学習 (第三次の2時)

- (1) 教材名 「森を育てる漁師の話」
- (2) ねらい 感想を交流し合い、自分の考えを深めることができる。
- (3) 評価規準 感想の交流をふまえて、新たな自分の感想をもっている。(発言・ワークシート)
- (4) 本時に生きる学び
「千年の釘にいどむ」で職人さんのすごさについて評価する言葉を選んで自分の感想を書いた。また「感想をまとめる」ことも学習した。そこで、みんなで同じ話を読み「感想をまとめる」力を生かし感想文を書いた。その感想文を交流し合い、友達の考えの感じ方や考え方にふれ、自分の見方・考え方の質を高めたり深めたりしていきたい。
- (5) 準備・資料など 感想文アイテム・人物評価カード・ワークシート
- (6) 本時の展開

学習活動	配時	子どもの意識の流れ	教師の関わり (・) 支援○評価◎
<p>【つかむ】 1 課題をつかむ</p>	5	<p>〈前時の学習を思い出そう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森を育てる漁師飯田さんに対する感想を書いた。 ・みんなで感想を交流したい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 感想を交流して、自分の感想文に生かそう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「感想文アイテム」を使って書いたことを想起する。
<p>【考える】 2 比較して考える</p>	10	<p>〈自分の考えをグループ内で交流し合おう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全力を注ぐ人」って飯田さんにぴったりの言葉。 ・〇〇さんの感想を発表してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの児童も自分の考えを発表できるようにグループ内で発表する形態をとる。
<p>【深める】 3 発表し合い、深める</p>	15	<p>〈漁師さんについて自分達の感想を出し合おう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねばり強い人・・・草は生えたが木を植えるほうはうまくいかなかった。失敗を重ねた末にやっという方法を見つけたから。 ・あきらめない人・・・効果がない方法から次の新しい「えりも式緑化工法」に取り組んだから。 ・投げ出さない人・・・くらしやすいところへ移り住もうという話がでたが移り住まずにがんばったから。 ・りっぱな人・・・原生林を取り戻すために毎年植樹祭に参加し、なえ木を植えているから。 <p>〈交流から感じたことを発表し合おう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは一生けん命な人と感じたけど、投げ出さない人という思いもよいと思う。ぼくも投げ出さないでがんばりたいということを書きたい。 ・やさしい人だと思ったが、友達の考えを聞いて、おだやかな人だとも感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物をどうしてそのように評価したか根拠をもとに話すようにする。
<p>【まとめる】 4 まとめる</p> <p>・国語日記を書く。</p>	15	<p>〈友達の考えを生かそう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々と気づいた。書きたいことも出てきたぞ。 <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> ぼくは「あきらめない」という強い心を持った人と思ったが、友達の感想の「おだやかな人」というのを聞いて、そういう人でもあると感じた。この友達の感想を自分の感想文に生かしたいと思う。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎評価規準 (発言・ワークシート) ○自分の感想に生かしていない児童には、板書を参考にしよう伝える。

